

# グラフで見る東海経済(2022年12月)

2022年12月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

# 今月の景気判断 ~持ち直しの動きが一服

## 【今月のポイント】

- 東海経済は、半導体調達難による自動車生産の停滞が響き、持ち直しの動きが一服している。
- 実質輸出(11月)は3ヵ月連続で増加となったが、自動車生産停滞の影響で年明けまでは足踏みが続くと見込まれる。
- 設備投資は22年度計画が上方修正となり持ち直している。
- 個人消費は、コロナ感染の行方、物価上昇などが懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きがみられる。

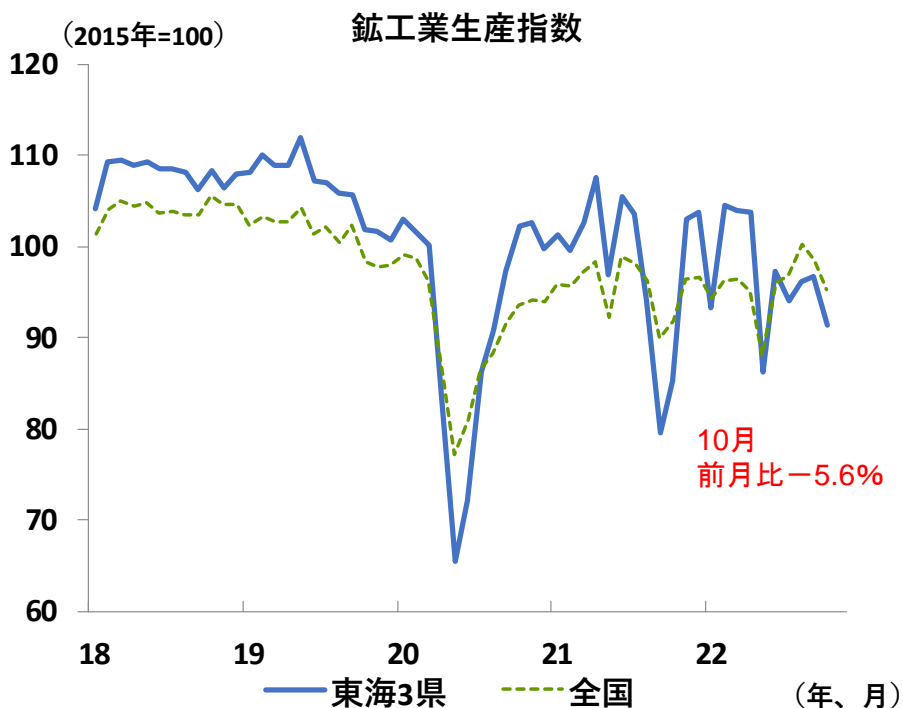
項目	現状
景気全般	持ち直しの動きが一服
生産	持ち直しの動きが一服
輸出	足踏み状態
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	横ばい圏で推移

注: ()内は前月からの変化の方向

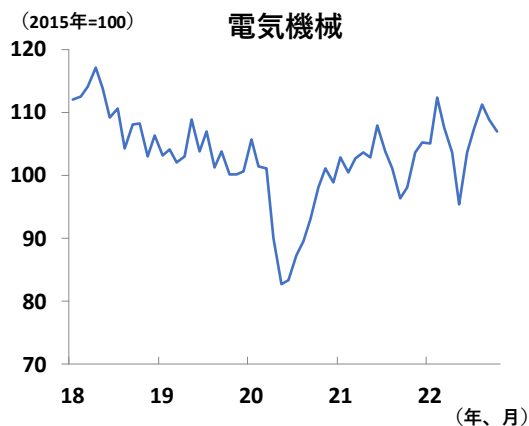
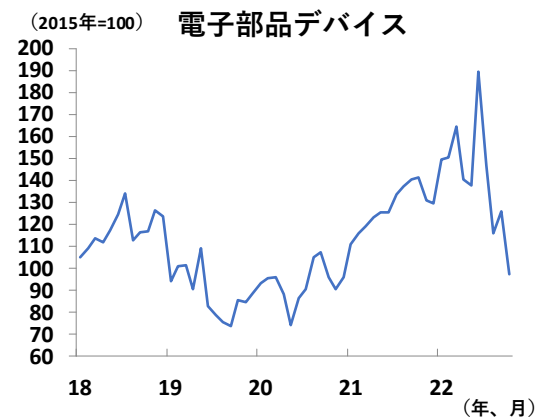
設備投資は、「持ち直しの動きがみられる」から上方修正(↑)

# 生産

10月の鉱工業生産(東海)は前月比-5.6%と3カ月ぶりに減少、持ち直しの動きが一服している。汎用・生産用・業務用機械は前月から増加したものの、車載用半導体の不足により輸送機械が減少、電子部品デバイス、電気機械も減少した。

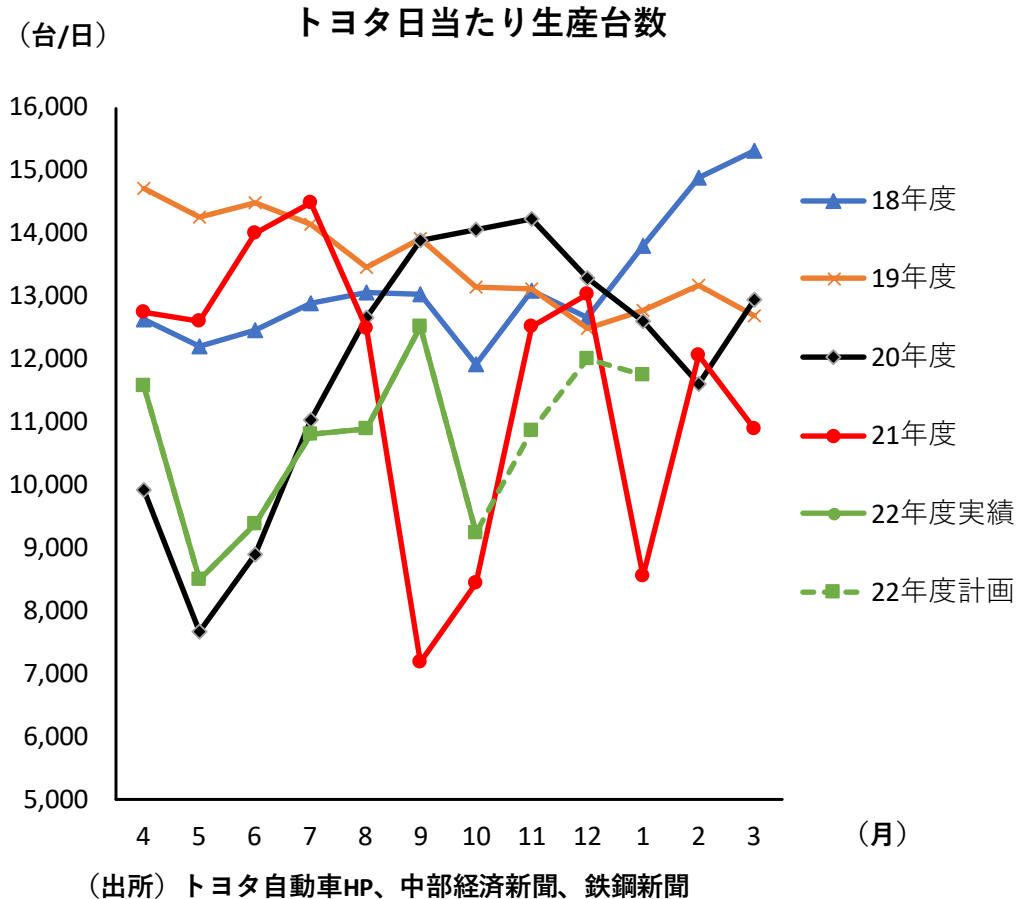
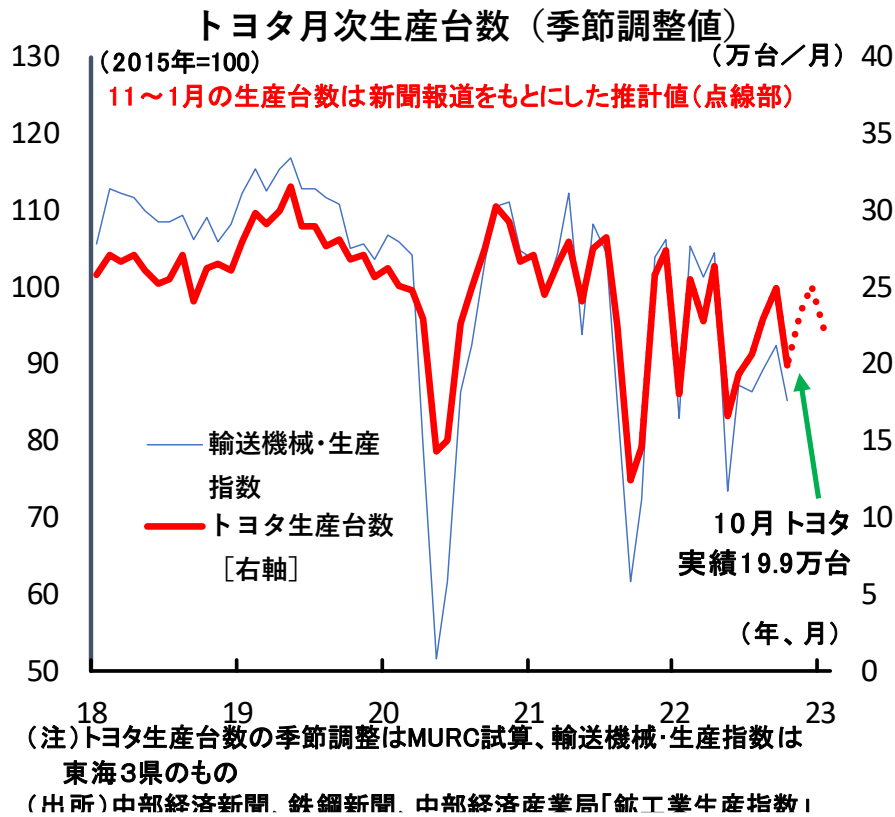


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」



# 生産（トヨタ国内生産）

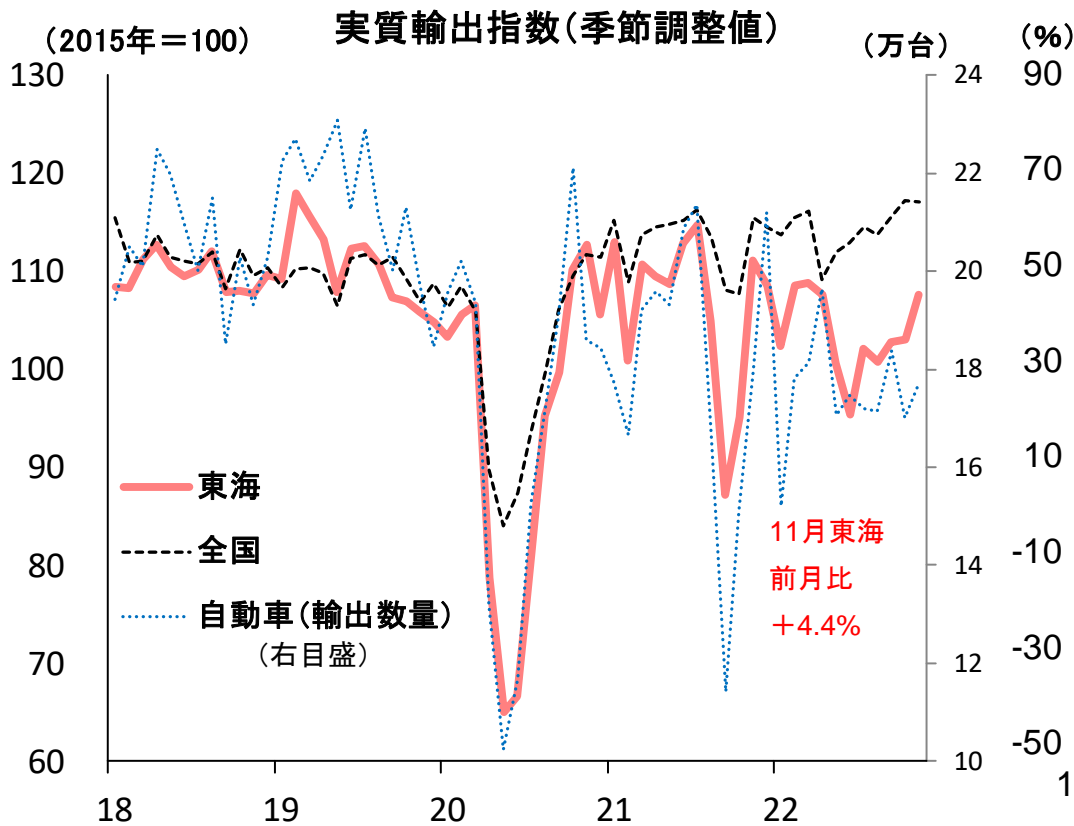
10月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は19.9万台と5ヵ月ぶりに減少。半導体調達難が続く中で当初計画からの下方修正が続いている。同社は10月に22年度の世界生産台数を従来計画の970万台から920万台へ下方修正した。



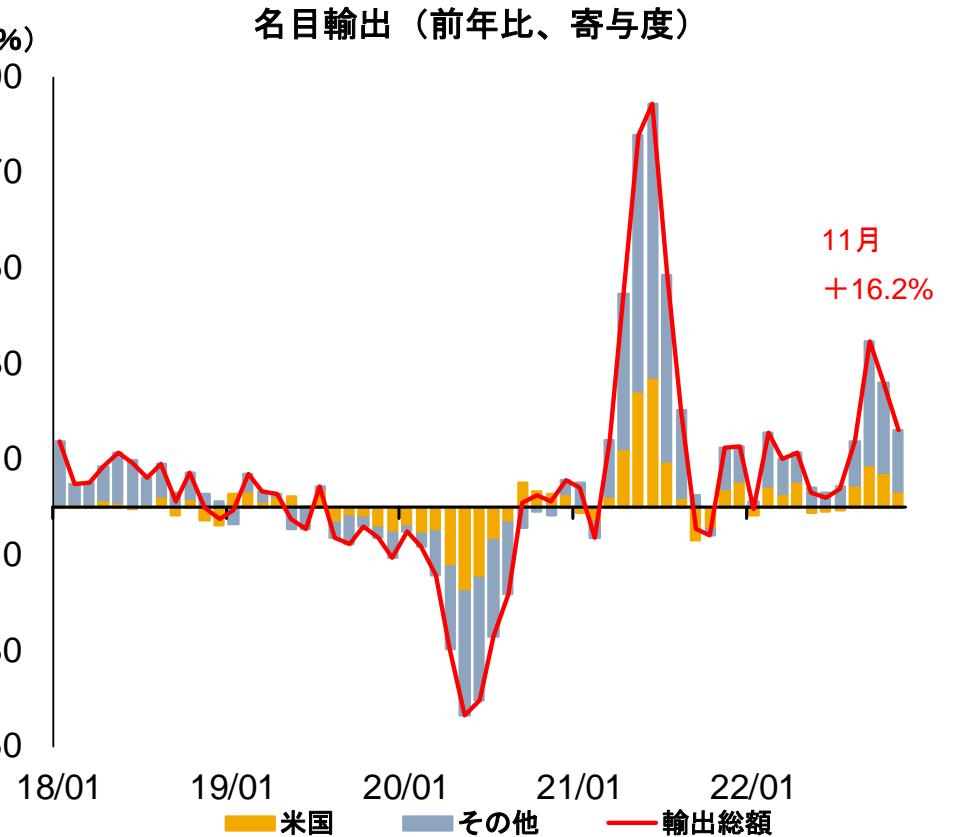
# 輸出

11月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+4.4%と3カ月連続で上昇した。

11月の名目輸出額は、前年比+16.2%と10カ月連続で増加した。自動車と同+20.7%(寄与度+6.5%)と大幅増となったことが効いた(数量ベースでは同-0.6%と減少)。地域別では米国、アジア、EU向けのいずれもが増加した。



(出所)日銀名古屋支店「実質輸出入」、名古屋税関  
 (注)自動車輸出数量の季調はMURC  
 (年、月)

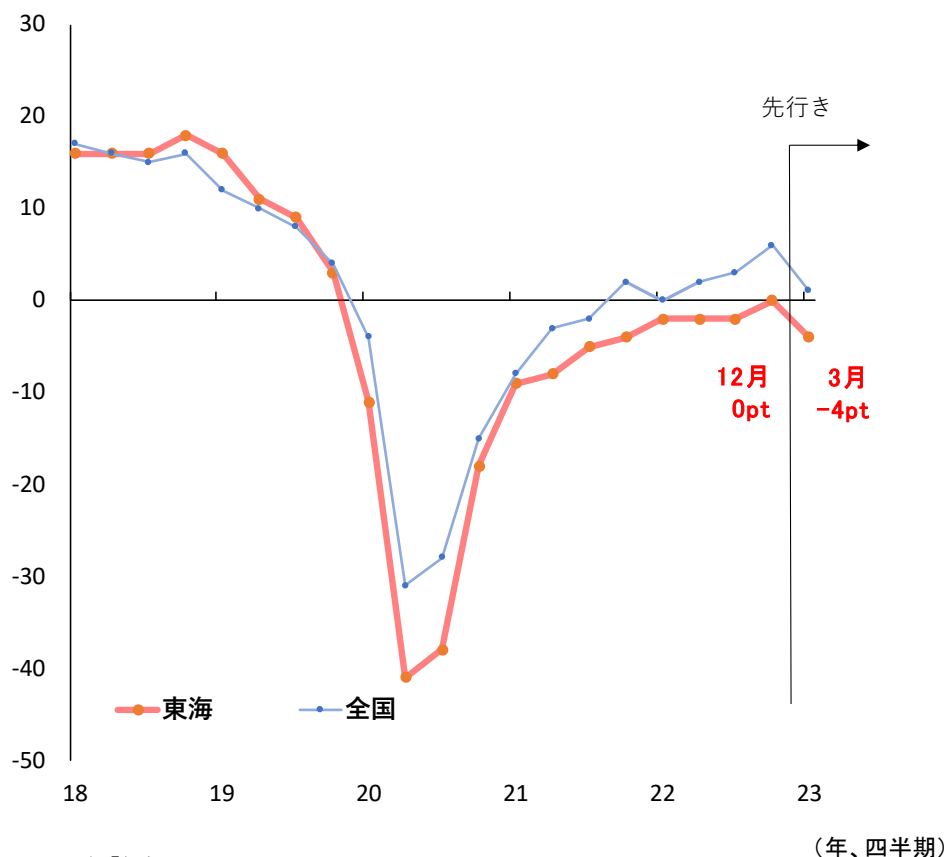


(出所)名古屋税関「管内貿易概況」 (年、月)

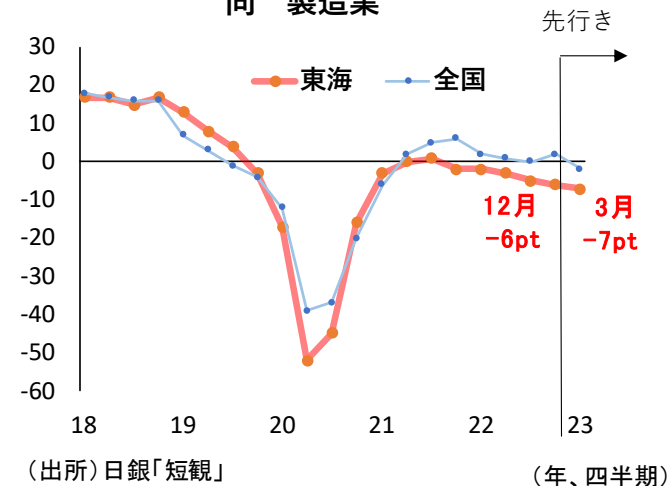
# 企業景況感(日銀短観)

日銀短観12月調査の業況判断DIは全産業で±0ptと9月調査(-2pt)から低下。製造業は-6ptと小幅悪化、非製造業は+7ptと改善した。自動車産業の景況感は-8ptと9月調査(-13pt)から改善した。

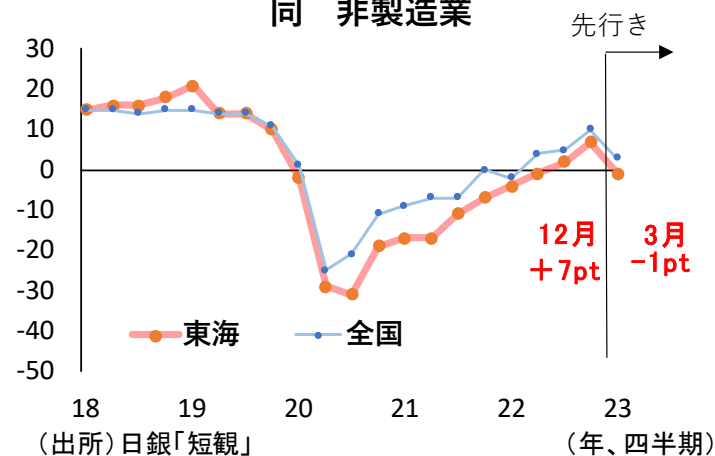
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

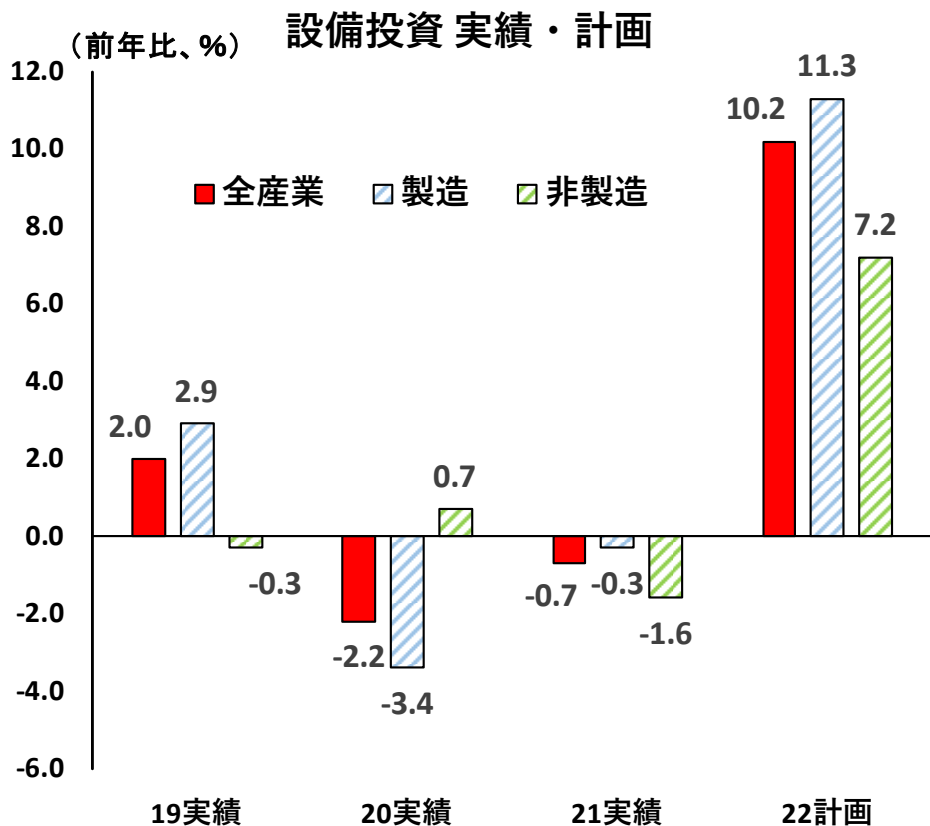


同 非製造業



# 設備投資(日銀短観)

日銀短観12月調査によると、22年度の設備投資計画は製造業で前年比+11.3%と前回調査から上方修正、非製造業では同+7.2%と小幅下方修正となった。化学、はん用機械、電気機械で大幅増が見込まれている。



(出所)日銀名古屋支店「短観」 (年度)  
 (注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

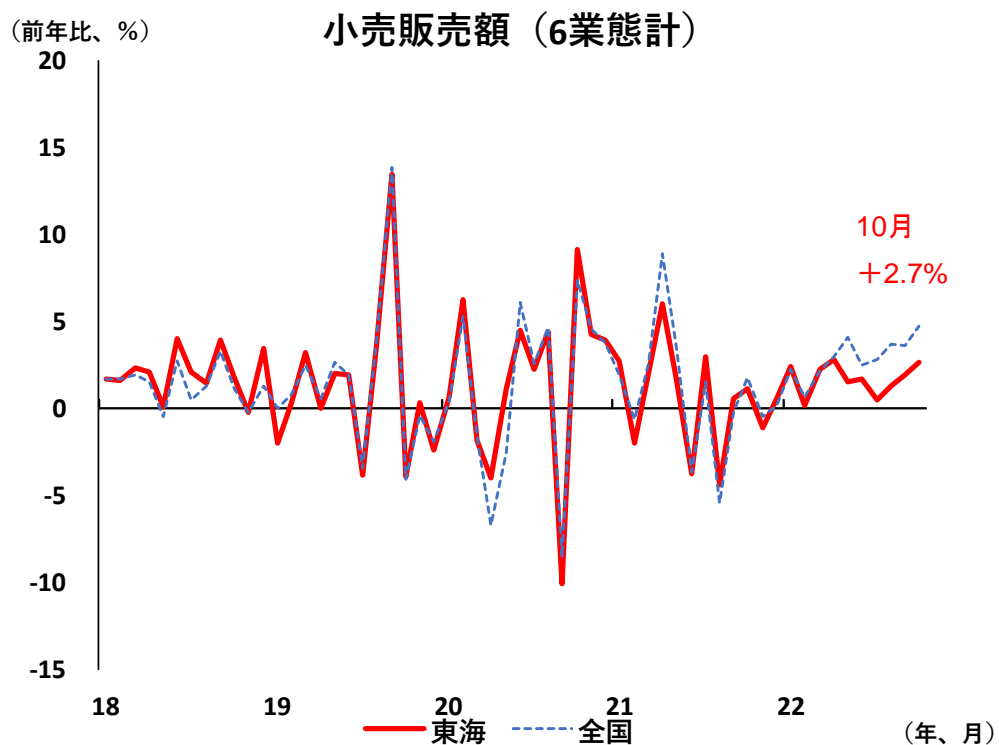
設備投資額 (前年比%)

	21年度実績	22年度計画	
		今回調査	前回調査との差異
全産業	-0.7	10.2	( 1.7 )
製造業	-0.3	11.3	( 2.4 )
非製造業	-1.6	7.2	( -0.3 )

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

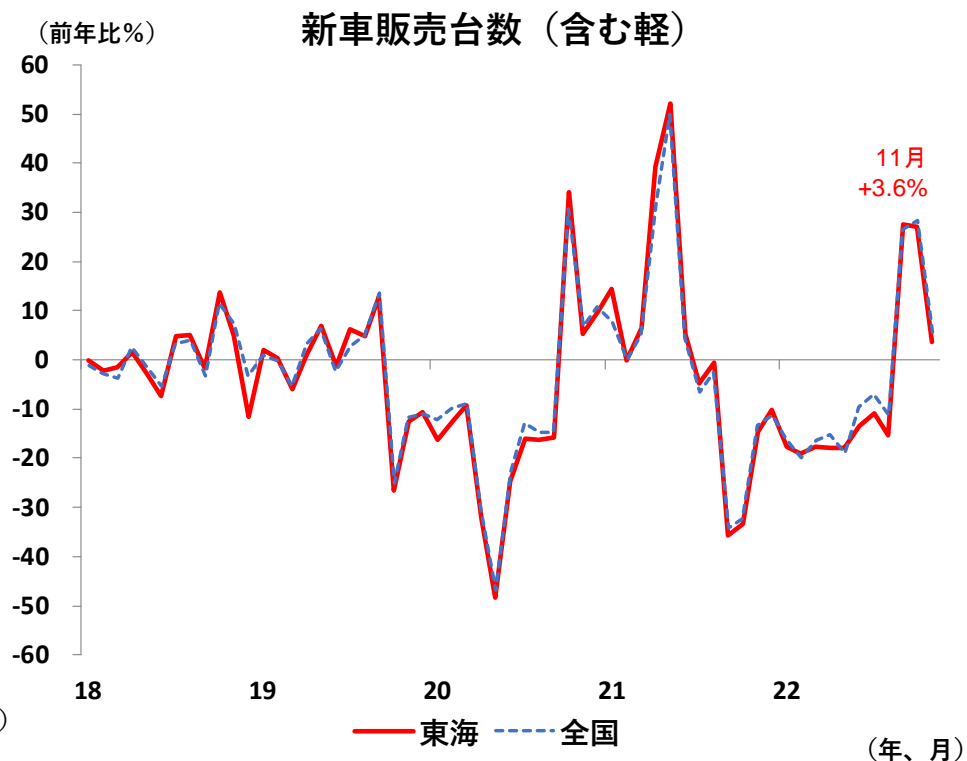
10月の小売販売額は前年比+2.7%と11ヵ月連続で増加。先行きは、物価上昇、コロナ感染再拡大などが懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きが続くとみられる。

11月の新車販売は、前年比+3.6%の36,806台と3ヵ月連続で増加したが、半導体調達難で自動車生産の停滞が続いており、11月の水準としては高いものではない。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



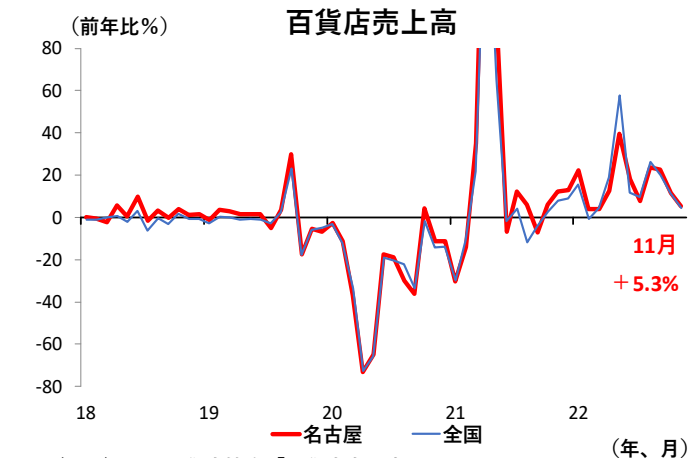
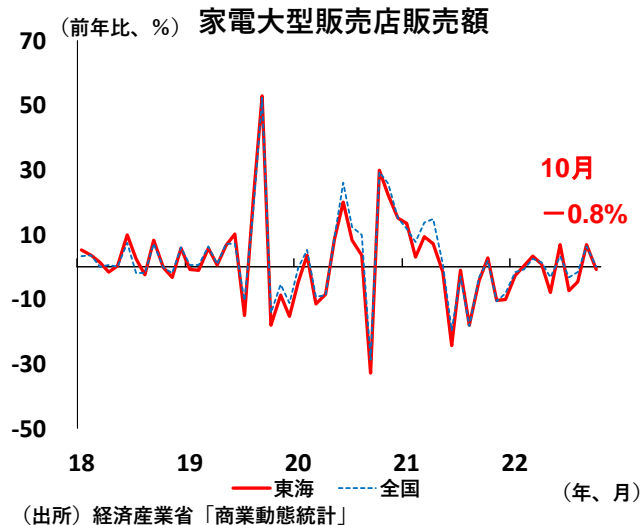
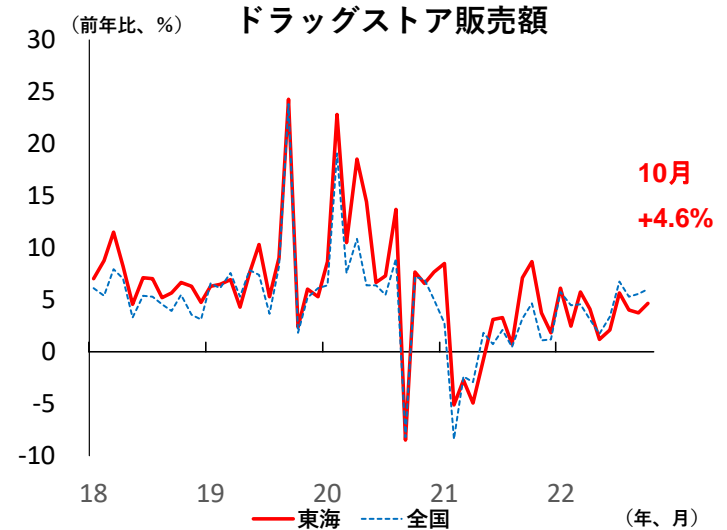
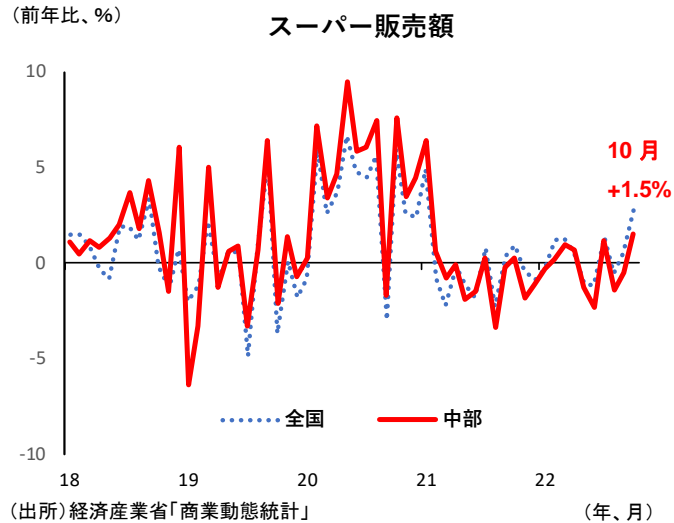
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」



# 個人消費(業態別)

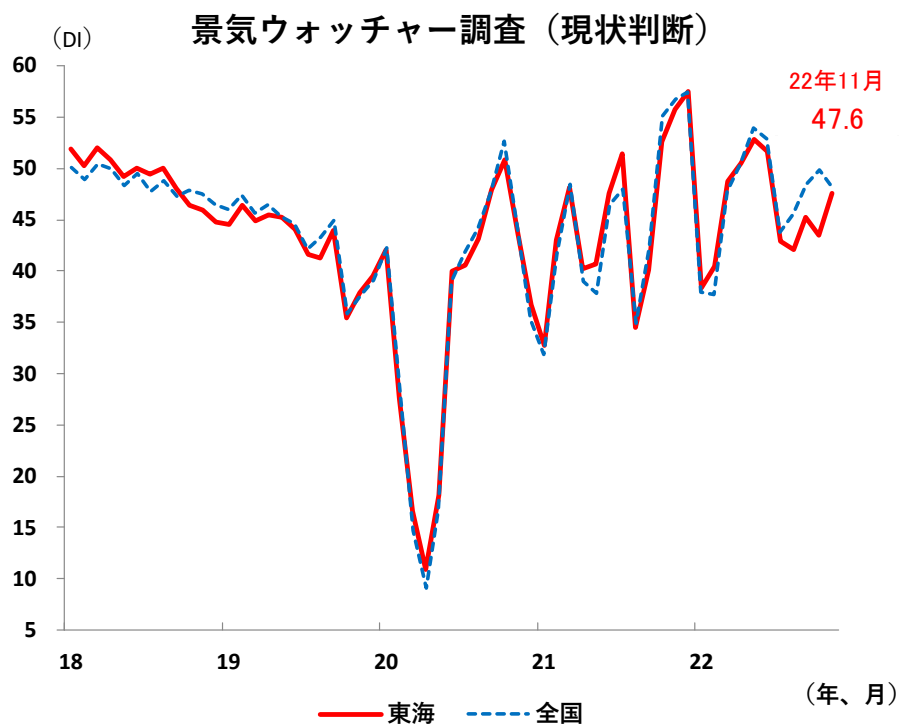
10月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)が3ヵ月ぶりに増加、家電は2ヵ月ぶりに減少した。  
 11月の百貨店売上(名古屋)は、前年比+5.3%と14ヵ月連続で増加した。



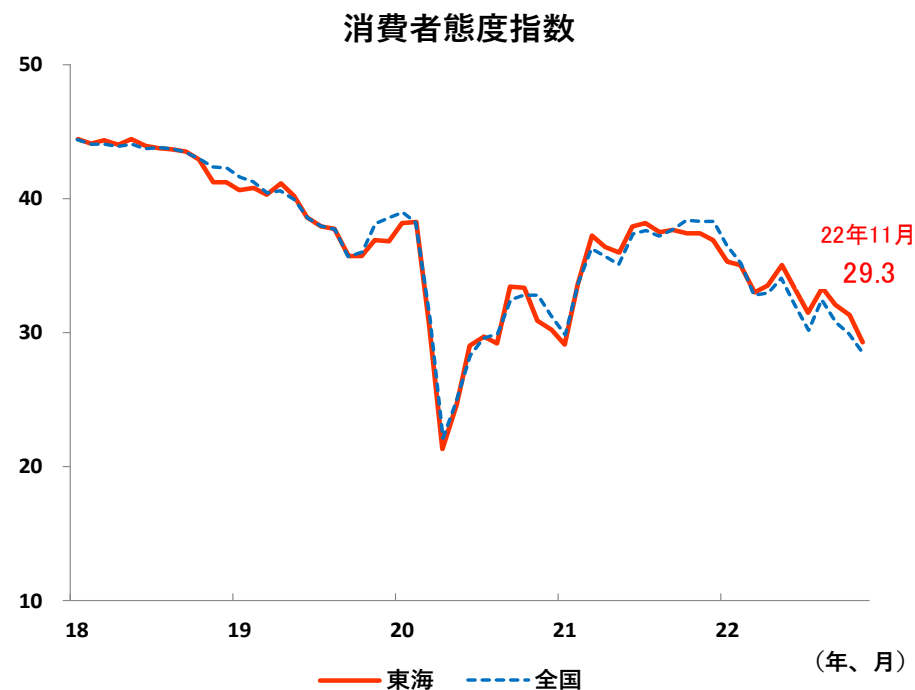
# マインド・景況感

11月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+4.1ポイントの47.6と2カ月ぶりに上昇したが、横ばいを示す50を5カ月連続で下回った。人流の戻りを指摘するコメントが多く、前月差の増加幅は地域別で最大となった(前月のDIの水準は地域別で最も低かった)。

11月の消費者態度指数は3カ月連続で低下した。



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

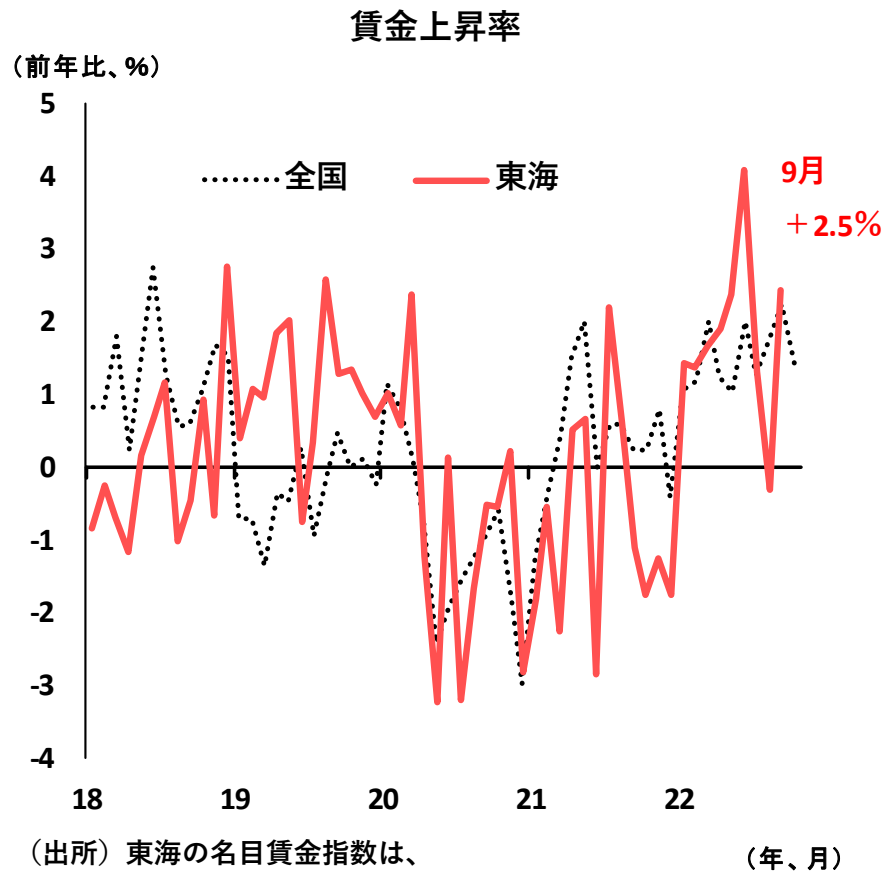


(注)東海の季節調整値はMURC試算

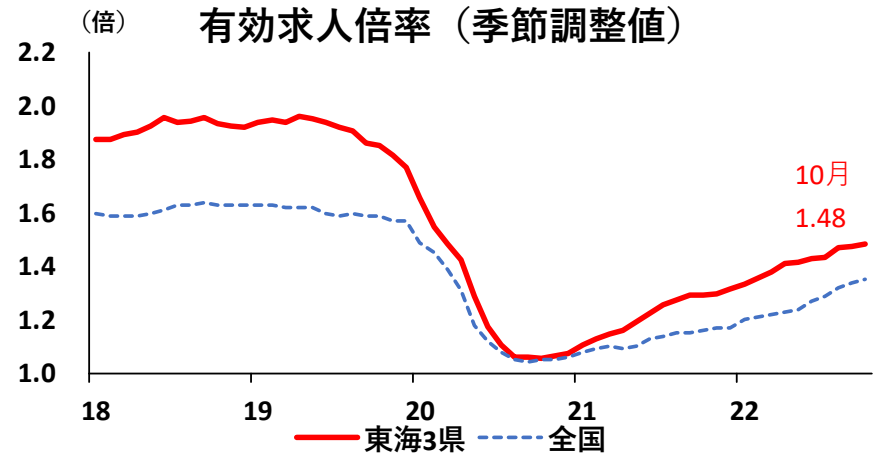
(出所)内閣府「消費動向調査」

# 賃金・雇用

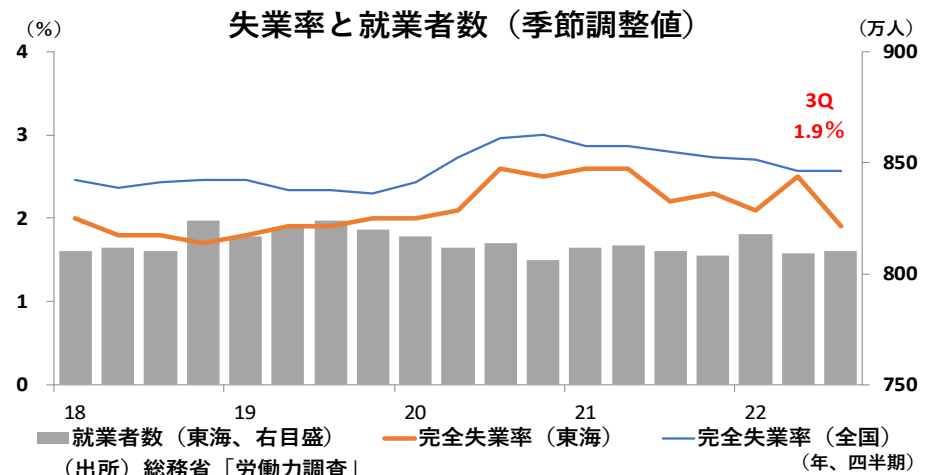
9月の名目賃金は、前年比+2.5%と2ヵ月ぶりに上昇した。10月の求人倍率は1.48と前月と同水準。全国に比べ求職者数増加の割合が低く、求人倍率は高めで推移している。22年7-9月期の失業率は1.9%と低下。就業者数は増加した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

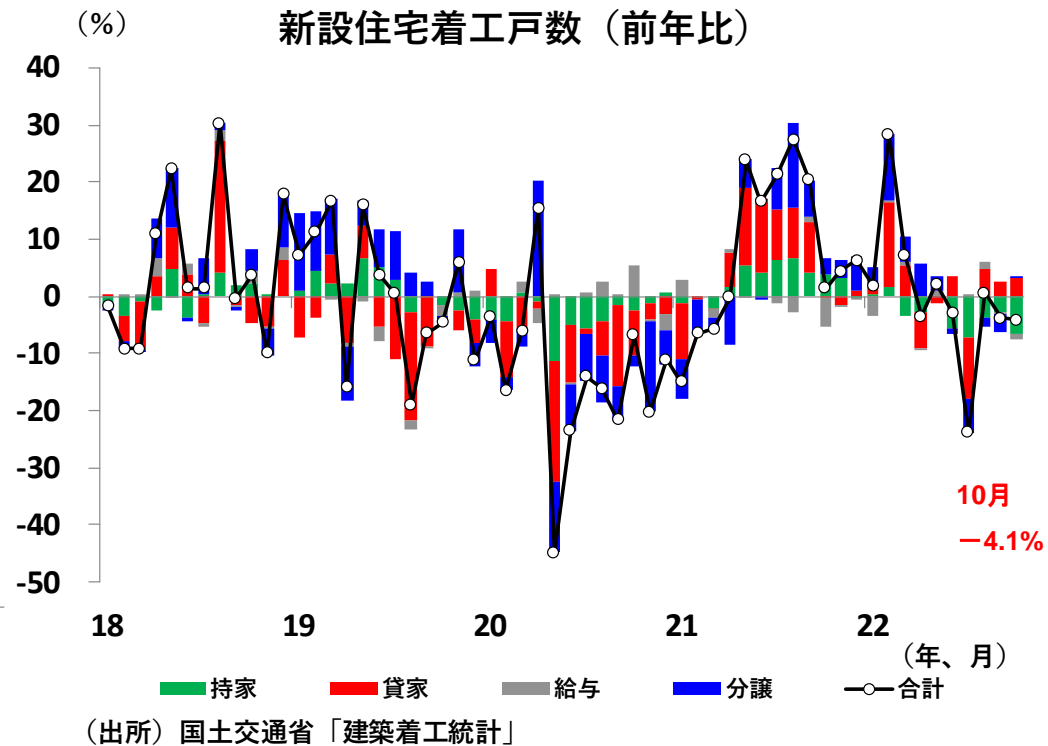
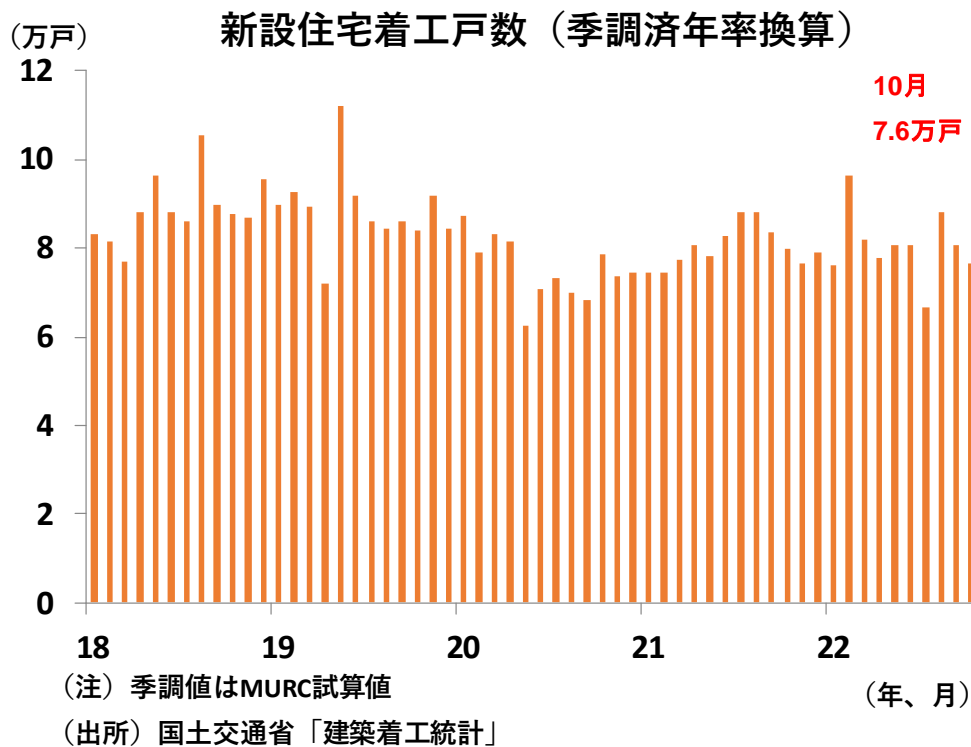


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



# 住宅投資

10月の住宅着工は季調・年率で7.6万戸と2ヵ月連続で減少。前年比でも-4.1%と減少した。利用関係別では貸家が増加したが、持家が減少した。

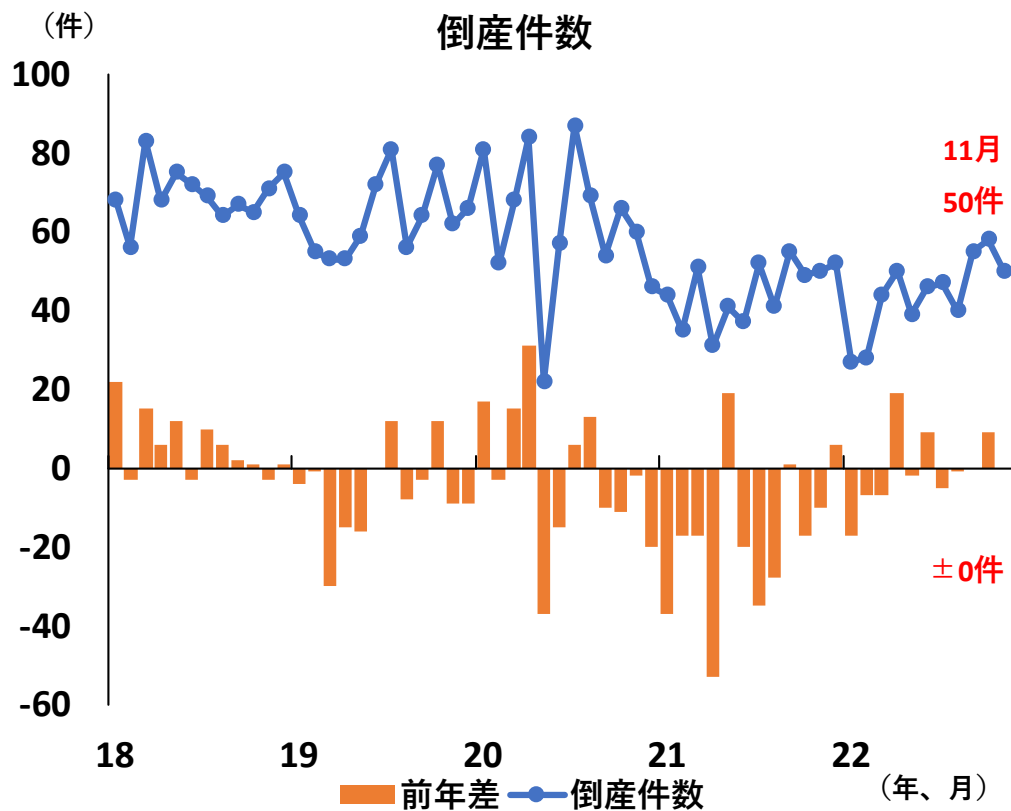


# 倒産

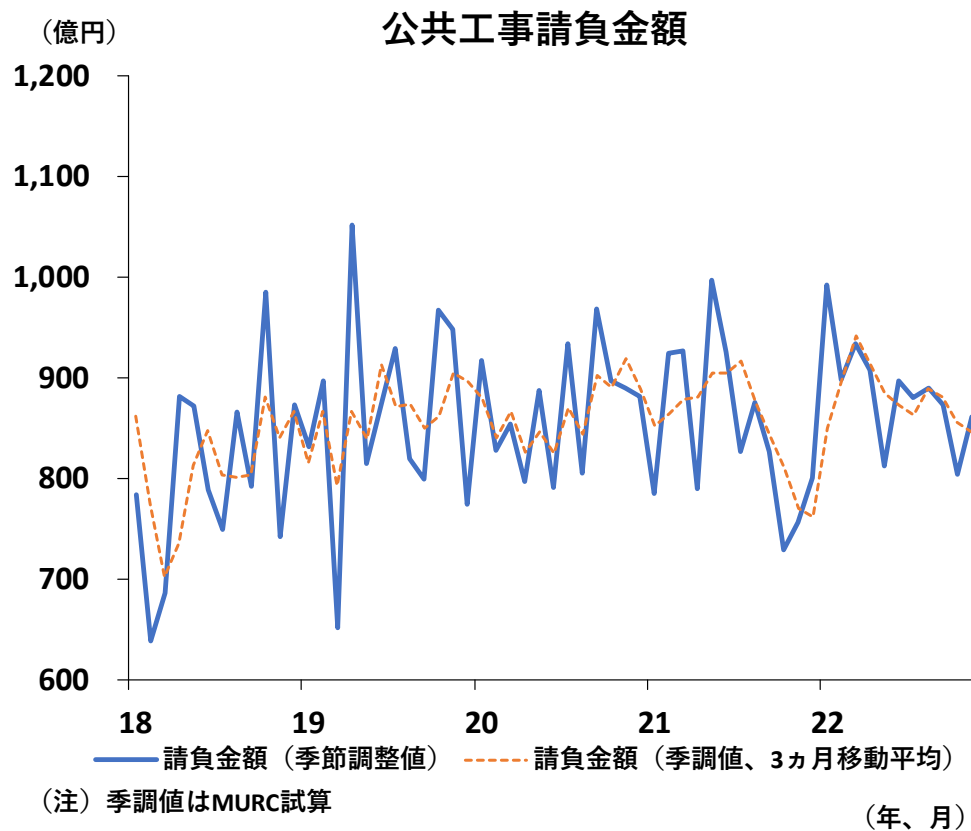
# 公共投資

11月の倒産件数は50件と前年と同水準。引き続き低水準で推移している。

11月の公共工事請負金額は、季節調整済前月比で増加、均してみると概ね横ばい圏で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください